

主 判 決 宣 告
昭 和 十 三 年 九 月 十 二 日
中 央 法 院
刑 事 部

昭和十三年刑控第三三四號

判 決

本籍 咸鏡南道甲山郡同仁面倉坪里六十九番地
住居 滿洲國通化省長白縣西于沟子

無 職 時 俊 コ ト

李 時 重

當 二 十 四 年

昭 和 十 三 年 九 月 十 二 日
檢 察 官 大 塚 隆 雄
中 央 法 院
刑 事 部

昭 和 十 三 年 九 月 十 二 日
三 審 判 決
昭 和 十 三 年 九 月 十 二 日
中 央 法 院
刑 事 部

右ノ者ニ對スル強盜殺人、治安維持法違反被告事件ニ付昭和十三年八月
二日清津地方法院ニ於テ冒渡シタル有罪判決ニ對シ被告人ヨリ控訴ノ申
立アリタルヲ以テ當院ハ朝鮮總督府檢察依田克己關與審理ヲ遂ケ判決ハ
ルコト左ノ如シ

主 文

被告人ヲ懲役十年ニ處ス
原審ニ於ケル未決勾留日數中三百日ヲ右本刑ニ算入ス
訴訟費用ハ被告人ノ負擔トス

理 由

被告人ハ昭和十一年陰九月頃ノ夜肩書住居地ノ德谷部落カ金日成ヲ隊長
トシ隊員二百名程ヨリ成ル共産匪抗日聯合軍ノ襲撃ヲ受ケタル際拉致セ
ラレ十數日後滿洲國撫松縣山中ニ於テ同軍幹部ヨリ抗拒スヘカラサル者
迫ノ下ニ懲罰セラレテ同軍ニ加盟シ同軍第五連ニ屬スルニ至リシヨリ長

主 判 決 宣 告
昭 和 十 三 年 九 月 十 二 日
中 央 法 院
刑 事 部

主 任 判 決 宣 告 九 月 十 二 日 申 奉 憲 判 決 宣 告 九 月 十 二 日

昭和十三年刑控第三三四號

判 決

本籍 咸鏡南道甲山郡同仁面倉坪里六十九番地

住居 滿洲國通化省長白縣西于沟子

無 職 時 俊 コ ト

李 時 重

當二十四年

右ノ者ニ對スル強盜殺人、治安維持法違反被告事件ニ付昭和十三年八月

二日清津地方法院ニ於テ冒濫シタル有罪判決ニ對シ被告人ヨリ控訴ノ申

立アリタルヲ以テ當院ハ朝鮮總督府檢事依田克己聯與審理ヲ遂ケ判決ハ

ルコト左ノ如シ

李時重ニ對シ

本刑ニ通算スヘキ法定未決

勾留日數三十六日アリ

京城覆審法院檢事

被告人ハ昭和十一年陰九月頃ノ夜肩書住居地ノ德谷部落カ金日成ヲ隊長
トシ隊員二百名種ヨリ成ル共產匪抗日聯合軍ノ襲撃ヲ受ケタル際拉致セ
ラレ十數日後滿洲國撫松縣山中ニ於テ同軍幹部ヨリ抗拒スヘカラサル脅
迫ノ下ニ懲慫セラレテ同軍ニ加盟シ同軍第五連ニ屬スルニ至リシヨリ長

三百日ヲ右本刑ニ算入ス

銃一挺及彈丸二十發ノ交付ヲ受ケ爾來之ヲ携帶シ同隊員多數ト相協力行
動シタルカ就中

第一、昭和十二年一月二十三日頃ノ夜滿洲國撫松縣以下不詳滿洲國人部
落ヲ襲撃シ部落民ヲ脅迫シタル上多量ノ穀類ヲ強奪シ

第二、同年二月一日頃ノ夜同撫松縣以下不詳滿洲國人部落ヲ襲撃シ部落
民ヲ脅迫シ牛四頭及多量ノ穀類ヲ強奪シ

第三、同月廿六日頃同撫松縣ヨリ滿洲國安圖縣内ニ移動中右兩縣境ニ於
テ荷物運送中ノ馬車十臺ヲ襲撃シ積載ノ廣木及多量ノ穀類ヲ強奪シ

第四、同月十五日頃同安圖縣以下不詳山中ニ於テ滿洲國治安隊ト遭遇ス
ルヤ順次機關銃長銃等ヲ發射命中セシメテ同治安隊員十名位ヲ殺害

裁判原本
朝鮮總督府裁判所

第五、同年五月一日頃ノ夜滿洲國和龍縣百里坪部落ヲ襲撃シ部落民ヲ脅
迫シテ多數ノ牛及穀類ヲ強奪シ

第六、同年五月四日頃ノ夜同安圖縣東京坪部落ヲ襲撃シ部落民ヲ脅迫シ
テ牛二十餘頭及多量ノ穀類ヲ強奪シ

タルモノニシテ以上ノ強盜及殺人ノ所屬ハ各犯意繼續ニ係ルモノナリ
證據ヲ按スルニ犯意繼續ノ點ヲ除ク爾餘ノ事實ハ之ニ照應スル被告人

ノ當公延ニ於ケル供述アルノミナラス判示第四ノ事實ニ付司法警察官事
務取扱第一回訊問調查中其ノ供述トシテ折日聯合軍カ判示年月月中安圖縣
内ニ於テ治安隊ト遭遇シテ交戦シタルカ治安隊ニテ八十名位戰死シタル

如 添 添 添

如 添 添 添

趣旨ノ記載アリ判示第貳ノ事實ニ付被告人ニ對スル豫審第一回訊問調書
中其ノ供述トシテ判示第五所載ノ襲撃ヨリ四五日後ノ夜抗日聯合軍ハ該
襲撃場所ヨリ西方ニ隔リアリシ三四十戸ノ部落ヲ襲撃シタルカ其ノ際被
告人ハ四五名ノ匪賊ノ跡ニ隨ヒ氏名不詳ノ朝鮮人方一軒ニ遁リ同匪賊等
カ脅迫シ各小麥二三升位宛又被被告人ハ小麥五升ヲ執レ奪取ヒ取りテ引揚
ケタリ、其ノ他ノ匪賊モ同様家ニ侵入シテ多數ノ穀物等ヲ奪ヒ取りタル
モノト思フ趣旨ノ供述アルニ依リ之ヲ認定シ得ヘク犯意繼續ノ點ハ短期
間内ニ同種ノ所爲ヲ反覆累行シタル事跡ニ徴シ之ヲ認メタリ
左レハ判示事實ハ其ノ證明アリタルモノナリ

法律ニ照スニ被告人ノ判示所爲中強盜ノ點ハ刑法第二百三十六條第一

裁判原本

朝鮮總督府裁判所

項第五十五條ニ殺人ノ點ハ同法第百九十九條第五十五條ニ各該當スルト
コロ以上ハ同法第四十五條前段ノ併合罪ニ係ルヲ以テ後者ニ付所定期中
有期懲役刑ヲ選擇シ同法第四十七條第十條ヲ適用シ其ノ重キ強盜罪ノ刑
ニ從ヒ法定ノ加重ヲ爲シ同法第十四條ノ制限内ニ於テ被告人ヲ懲役十年
ニ處スヘク同法第二十一條ニ則リ原審ニ於ケル未決勾留日數中三百日ヲ
右本刑ニ算入スヘク訴訟費用ハ刑事訴訟法第二百三十七條第一項ニ則リ
被告人ヲシテ負擔セシムヘキモノトス

仍テ刑事訴訟法第四百一條第一項ニ則リ主文ノ如ク判決ス

控訴理由アリ

昭和十三年九月七日

京城覆審法院刑事第一部

裁判長朝鮮總督府判事

李承勳

朝鮮總督府判事

朴正基

朝鮮總督府判事

金日成

裁判原本

朝鮮總督府裁判所

1235